

2022

レース結果報告書

全日本選手権 第6戦 オートポリス大会



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

全日本選手権・レース結果

Race

アジア選手権からインターバル無しで事前テストに参加。豊島はウェットコンディションではトップタイム、ドライコンディションでも上位タイムでテストを終えて好調なままレースウィークを迎えました。

オートポリス大会は土曜日と日曜日にそれぞれ決勝レースがある2ヒート制で開催されます。豊島怜はフリープラクティスでもホンダのトップ3に次ぐ4番手タイムを記録して表彰台を狙える位置で順調な仕上がりを見せます。一方谷本音虹郎はアジア選手権での転倒により脳診断の診断が下され今大会は出走できなくなりました。谷本の思いも乗せて孤軍奮闘する豊島のレース結果をライダーのコメントと共にご報告致します。

タイトル：全日本選手権 第6戦 オートポリス大会

開催日：2022年8月27-28日

観客動員：5700人（土日合計）

リザルト：#6 豊島 怜 Heat1 予選8位 決勝7位
Heat2 予選10位 決勝8位

#24 谷本音虹郎 欠場



レース報告・豊島怜 #6

Race

豊島怜コメント

全日本事前テストから調子が良く、事前テストのFP1では自身初となるトップタイムをマークすることができました。それからも常に表彰台の見える位置をマークすることができました。しかし、新たに試したセッティングをなかなか詰められずタイムの割にフィーリングが良くない状態でレースウイークを迎えました。それでも初日は総合4番手とホンダのトップ3に次ぐ順位で終える事が出来て、レースでは少しでも食らいつけそうな感触でした。

公式予選

予選ではアタック1回目の直後に赤旗になり、その後は単独でコースインして1周目に自己ベストを記録、更に次の周には全セクション自己ベストをマークしていたのですが最終セクターで転倒をしてしまいました。悪くても2列目には入れると思っていたのですが、後方グリッドに沈んでしまいました。決勝グリッドはベストタイムの結果でヒート1が8番手、ヒート2がセカンドタイムで10番手からのスタートとなりました。

決勝 (ヒート1)

15分間の朝フリーでは今後を見据えてタイヤを攻撃しないリアのセッティングにアジャストする為、大幅に変更しました。レース1ではまずまずのスタートから1コーナーに入る時は11位くらいでした。気温の上昇を見据えてセッティングを変更したのですが、それが裏目に出てしまい常にフロントから転びそうなのを抑え込みながらのレースになりました。いつもと走り方を変えながらペースを上げて一台一台抜いていき7位でチェッカーを受けました。

決勝 (ヒート2)

決勝レース2では4列目の10番グリッドからのスタートになりました。今シーズン1の抜群のスタートを決め一気にトップ集団後方に追いつきましたがそこでCBRのライダーとの激しいバトルになり抜きつ抜かれつ2周をかけて引き離すことに成功しました。しかしその時には前の集団とは2秒近く差ができてしまい、全力で前を追い徐々に追いつきましたが9周というスーパープリントでは周回数が全く足りずにそのままチェッカーとなりました。

今回は予選で早々に転倒してしまったことが敗因です。攻めた結果なので仕方ない部分もありますが、良いグリッドからスタートできていれば間違いなく展開は変わっていたと思います。満足いく結果ではありませんが、2レースともにレースの内容を見ればまた一つ成長できたんじゃないかと思います。今シーズンは毎レース何か1つが良くなって、他の何かは欠けてしまうレースが続いていますが、全てが噛み合った時に大きな結果を得られると思っています。次戦岡山では表彰台に立てるように全力で臨みたいと思います。

チーム関係者の皆様、並びにご協賛して頂いている各位スポンサーの皆様、誠にありがとうございました。

監督コメント

Ofisyaru Comment

豊島はアジア選手権からの良い流れのまま予選を迎えましたが、コースインのタイミングが悪く最初のアタックでポジション取りに失敗してしまい思うようなタイムを出す事が出来ませんでした。更に転倒と良い流れをすべて不意にしてしまう展開になりましたが、午後のヒート1の決勝レースで今出来る最善を尽くして完走。今季初ポイントを獲得して立て直す力を見せました。そして翌日曜日の決勝ヒート2では課題のスタートも克服してポジションを上げることに成功。レースは周回数も短く満足いくポジションには届きませんでした。収穫はありました。

レース中も路面温度が上昇したサーキットに多くのライバル達が餌食になってゆく中で、プッシュする事が難しいと判断して走り方を変えて路面に合わせた乗り方にチェンジするなどクレバーな面も見せてくれました。

目標の表彰台には届きませんでしたが、走りの成長と共に精神面も強くなったなど感じた今大会の豊島怜でした。

次戦は全日本選手権第7戦の岡山大会。谷本も復帰して最終戦を前にした大事な1戦です。引き続き若い二人に、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

代表 室井秀明

スポンサー



有限会社ライフサポート



竹中興運



E.P.S



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2022年も頑張ります！



ギャラリー

Gallery

